

PRESTO® W92tt

100 リットルのリアクターを +20 °C ~ -50 °Cへ冷却

目的

このケーススタディでは、100リットルガラスリアクターでPRESTO® W92ttの冷却能力をテストを実施。
W92ttは片道3mのメタルチューブでリアクターに接続されています。
+20°Cから-20°Cに冷却するようにプログラミングされています。

試験環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	400 V / 50 Hz

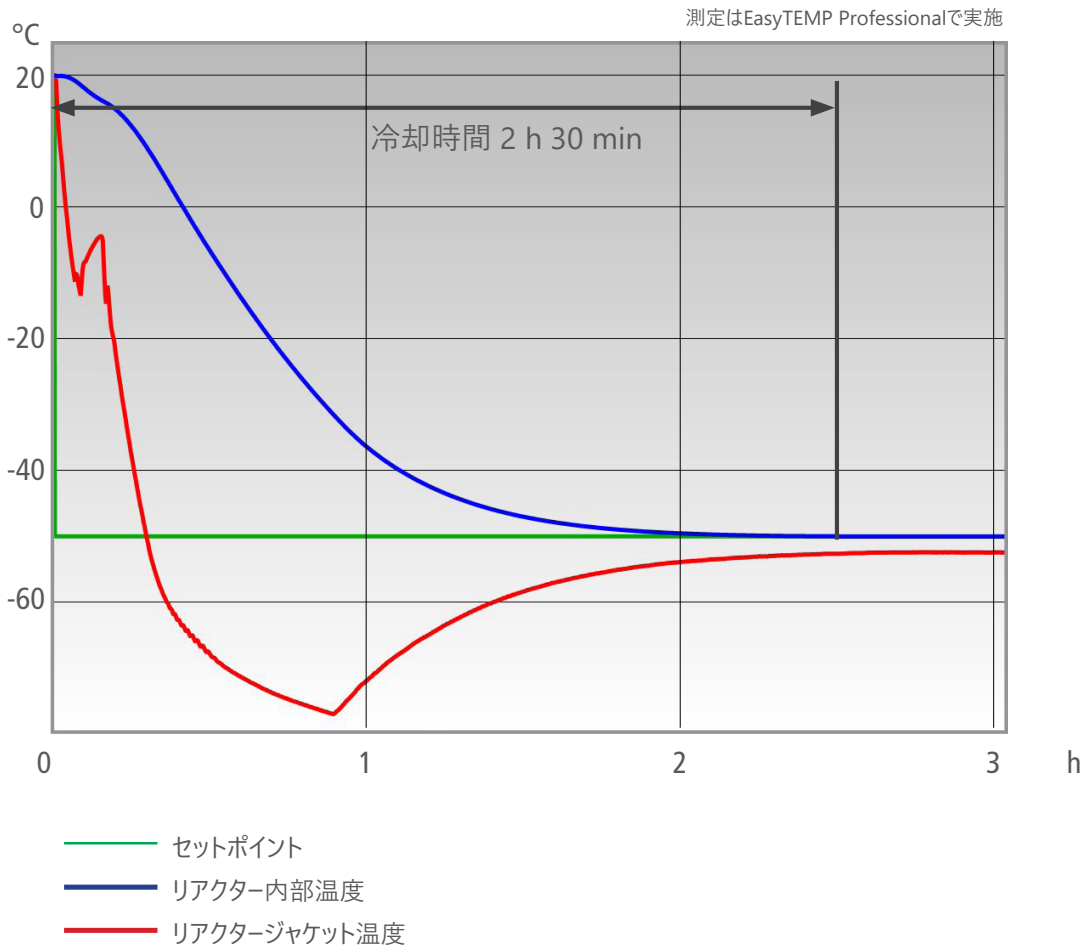
試験条件

JULABO ユニット	PRESTO® W92tt
冷却能力	+20 °C 19 kW 0 °C 15.5 kW -20 °C 9.5 kW
加熱能力	36 kW
バンドリミット	内部/外部温度の温度差制御 (有効)
吐出圧力	0.5 bar
循環液	サーマル HL80
リアクター	100リットルガラスリアクター (Büchiglas) 内容液: エタノール (70リットル)
ジャケット容量	30 リットル
制御	外部制御 (ICC)



結果

PRESTO® W92ttは+20 °C から -50 °C まで2時間30分でアンダーシュート無しで冷却しました



その他の機能

JULABO社は幅広いアクセサリを持っています。M+Rインラインセンサーは、循環液の温度を測定できます。



その他の機能

EasyTEMPソフトウェアで装置の制御、プログラム運転、温度の記録が可能です。このソフトはJULABO社のホームページより、無償でダウンロード出来ます

EasyTEMP

